

1 本校の取組状況と成果

六ツ美中部小学校では、毎日の昼なび（昼の学びタイム）13時40分から13時50分を「英語活動」の時間としています。児童はスキット場面から会話の状況をイメージし、歌やチャンツ、楽しいリズムに乗って **Key sentence** や **key word** を声に出して練習しています。担任は、児童の豊かな表現力や意欲を引き出せるよう、明るい表情とクリアな声で児童と共に英語を発話しています。

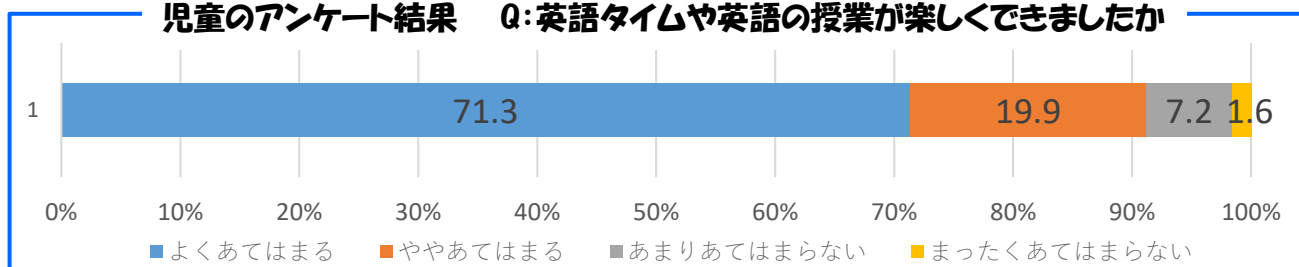
令和7年度の英語活動について児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや英語の授業が楽しくできましたか」という質問に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の91.2%でした。令和6年度は、全体の93.8%だったので、2.6ポイント下降という結果となりました。昨年度より下がってしまいましたが、本校の英語活動や授業を、9割以上の児童が楽しんでいることが分かります。特に「よくあてはまる」の回答は、71.3ポイントと前年の61.4ポイントより約10%上昇しています。



今後の課題としては、英語活動や英語の授業に対して消極的な約8%の児童への対応を考えていく必要があります。今回、消極的な捉えをする児童の割合が減ったことを受け、各担任がよかった部分を継続し、さらに英語に関する取組が楽しいものになるような工夫を取り入れて、改善を図りたいと考えています。

今後の課題としては、英語活動や英語の授業に対して消極的な約8%の児童への対応を考えていく必要があります。今回、消極的な捉えをする児童の割合が減ったことを受け、各担任がよかった部分を継続し、さらに英語に関する取組が楽しいものになるような工夫を取り入れて、改善を図りたいと考えています。

児童のアンケート結果 Q:英語タイムや英語の授業が楽しくできましたか



2 保護者・地域への働きかけと声

令和7年度の保護者へのアンケート調査で、「お子さんは英語活動、英語の授業を楽しみにしている」という質問に対して、肯定的な回答をされた方が、令和6年度が全体の73.7%に対して、令和7年度は80.4%と6.7ポイントの増加が見られました。子供の回答結果と合わせて、英語活動や英語の授業が好印象になっていることが分かります。各家庭で英語活動のことが話題になり、子供たちの声が届いていると感じました。これからも学校ホームページなどで、学校の様子を伝え、保護者の方や地域の方の声を取り入れることで、よりよい活動になるよう努めていきたいと思えます。

3 まとめ

本校では、子供たちが主体的に学習に取り組めるよう授業改善を進めています。英語の授業や英語活動も例外でなく、より英語に親しみ、楽しく活動できるよう取り組んでいます。高学年の外国語科の授業も、担任やALTを交えて楽しそうに活動しています。英語活動も、元気よく取り組む姿が見られます。今後も日常に生かせる英語の習得に向け、英語タイムの活用や授業の進め方の工夫・改善を重ねていきたいと思えます。